

平成19年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

|   | 団体名                 | 金額      |
|---|---------------------|---------|
| 提 案 の 概 要   |                     |         |
| 1   | 自由部門：ライフコーディネート静岡   | 477,750 |
| <p>中小企業で働く人々への出前講座「始めてみよう！団塊世代の生活設計」-セカンドステージを前向きに-<br/>         中小企業で働く人々を対象に、定年退職でセカンドライフに直面するに当たって、当事者の欲しい情報、考えるヒントを“出前講座”の形で提案し、退職後の生活設計に役立てていただきます。<br/>         メインテーマは、「生きがいある定年後の生活設計」ですが、講座内容は家庭経済、人間関係、社会貢献、健康管理などベシックとなる課題を受講希望先のニーズに合わせて、幅広い視野でとらえています。<br/>         受講希望の企業は、DM及び訪問アプローチと打ち合わせで決定。先方のニーズに対応していくフレキシブルな対応が当講座のポイントです。<br/>         実施時期は、平成19年10月～11月の間で設定します。</p>  |                     |         |
| 2   | 自由部門：特定非営利活動法人清水ネット | 262,500 |
| <p>災害時等に備えたNPOプラスNPO推進事業<br/>         現在、静岡市には約200のNPO法人がありさまざまな活動を行っているが、自分たちの活動の外に目を向ける余裕がなく、連携が難しい現状がある。災害時には、地域自治会の働きが重要であるが、市民の自主的な活動も、特に復興時には大きな役割を果たすことが阪神淡路大震災で明らかとなった。静岡市で今後予想される災害時にも、NPOの連携が不可欠である。<br/>         行政と協働して、NPO間のネットワーク化を図り、少しでも災害時に役立つようなものにしたい。NPOのネットワーク化は、災害時だけでなく、NPOそれぞれの活動がより広がりをもち、ダイナミックなものとなって、日頃のまちづくりなど、さまざまな活動にも一層力を発揮できるようになると考える。<br/>         阪神淡路大震災の経験者である中間支援組織の講師を招き、市民フォーラムを開催してネットワーク化の第1歩としたい。</p> |                     |         |